留学報告　フィリピン留学中　2年1組　中野 稀裕

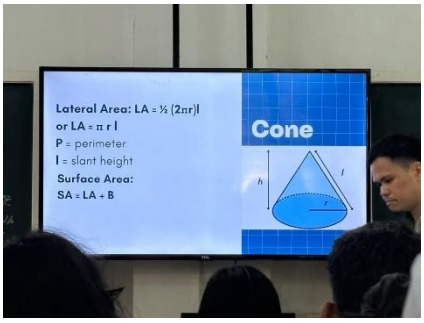
9月に入ってからだんだんと現地の町に慣れてきて、一人で出歩いたり友達と出かけることが増えました。気付いたことは、たくさんの日本語や日本風のカフェがフィリピンにあることです。それと服がとことんやすいです。どれも100ペソ、200ペソで買えてしまいます。ただ、市場は偽物やスーパーコピーで溢れかえっているので、買う際にはタグをしっかり確認して要注意が必要だと友達から指導を受けました。それと、9月にはいってからトライシクルの運転手と値段交渉する勇気を持ち始めて、詐欺に合うこともだんだんと減りました。
9月の3日から3日間現地校の体育祭が始まりました。バスケットボールと陸上の二種目に出場しましたが、フィリピンのバスケは本当にタフというかなんというか、みんな体が強く、あたりが強いので、日本のバスケとは全く戦い方や点の取り方が違うし怖いなと思いました。体育祭の最終日にはパージェント（学校のMr、Msを決める大会のようなもの）が開催されて、自分のクラスの友達も参加していたので、応援に行きました。日本のあまり優劣をつけたりするのを嫌うような雰囲気と違って、フィリピンでは何事も順位や勝ち負けを決める文化があるんだなと日々感じます。
体育祭が終わり、通常授業に戻ってすぐに国際協力について学ぶクラスで自分の民族についてプレゼンテーションをする授業がやってきました。フィリピンには多くの民族がいて、もちろん自分のクラスにも様々なルーツを持つ学生が通っています。もちろん僕は日本人で一人の発表です。留学生が絶対に経験するであろうこのイベントをどう成功させるか考えた末に、自分はインターハイの時に通った京都について紹介することに決めました。質問形式の発表は大盛り上がり、質問時にたこ焼きを作ってほしいとクラスメイトに頼まれたので、クリスマスのパーティで振る舞う事を約束しました。他にもビジネスアカウンティングの授業や数学の授業があります。数学の方は二次関数や面積、体積の授業で、比較的太田一高の授業と比べるとやさしいですが、英語で説明を受けるとやはりなかなか理解するのに難しく感じるなと言う印象です。
9月15日は聖マリアの誕生日で、私立カトリックスクールである現地校では朝早くから校庭に集まった全校生徒でご飯を頼んで食べたり、お祈りをして過ごしました。
19日、この日は学校が休みでAFSの生徒たちとKasibuという町まで遊びに行きました。滝で泳いだりカフェにいったり、洞窟探検をしたりしました。自分がいるNueva vizcayaはフィリピンの内陸の方なので、山や洞窟などの自然のほうが多いです。自分がここに来る前には想像していませんでしたが、みんなが想像しているフィリピンとは違うフィリピンの美しさを見ることができて嬉しいです。
休みの日や、学校が終わってからは友達とダンスを踊ったり小さいマーケットに行ったり、チェスをしたりして遊びます。フィリピン人は、と言うわけではないですが、多くのフィリピン人が踊ったり、歌を歌うのが得意だし好きなんだと思います。スーパーマーケット、クラスルームはとにかく寒いです。町の気温が31〜36℃なのにたいして、マーケットや授業中は半袖ではお腹が冷えてトイレにいくのに十分な寒さになっているので、本当に困っています。食事にもだんだんと慣れてきました。油物の食べ物はなるべく避けるようにして、野菜を食べたいとホストファミリーに相談したりしています。ホストファミリーが学校の先生、ホストブラザーも学校のプロジェクトなどで、なかなか家族の時間が作れていないのが現状なので、もっとコミュニケーションをとったり出かけたりしたいなと考えています。しかし、もう少しで二ヶ月がすぎる頃です。段々と生活にも慣れてきたので、語学学習と、自分がここフィリピンに来る理由と探求課題を明確にして、しっかり活動にフォーカスしたいと思います。










Lateral Area: LA = ½ (2πr)l
or LA = π r l
P = perimeter
l = slant height
Surface Area:
SA = LA + B
Cone






PUMA











